

まるまるひがしにほん
(東日本連携センター)について



令和元年度の利用状況について

【1階】

●令和元年度実績

- ・来場者数 761,069人 (1日平均来場者 2,174人)
 - ・最高来場者数(1日) 7,393人
 - ・利用自治体数 延べ77自治体
 - ・利用方法 シティプロモーション(観光PR、特産品の試飲試食・販売、伝統工芸品の展示・販売等)、ワークショップ、交流会イベント(ナイト)、震災復興PR等
- ※都内60自治体のアンテナショップと比較→年間入館者数の上位5~7に相当する

●これまでの累計(令和2年10月24日現在)

- ・来場者数 1,100,449人 9月に100万人を突破!



【みなかみ町PRの様子】



【魚沼市PRの様子】



【ナイトの様子】

令和元年度の利用状況について

【2階】

●令和元年度実績

- ・商談・ビジネスマッチング件数 68件
- ・セミナー実施回数 56回
- ・自治体の活用事例

函館・仙台の商工会議所など東日本地域とさいたま商工会議所が連携した商談会
郡山市がセンター近隣飲食店を対象にした鯉の試食会を開催
十勝地域による合同企業説明会など

- ・その他、センター主催による「企業向けセミナー」や「光学産業サミット」の開催など
ビジネスマッチングの創出を図っている。



【商談会の様子】



【セミナーの様子】



【鯉の試食会の様子】

飲食店等連携事業「まるまるひがしにほんの店」について

●市内事業との連携

まるまるひがしにほんを核とした市内飲食店等との連携として、「まるまるひがしにほんの店」を開始

- ①東日本の特産品を取り扱う市内飲食店等を拡大
 - ②市内飲食店等への集客と東日本特産品の消費拡大
- 協力店舗には、まるまるひがしにほんに集まる魅力的な情報を提供

●取組事例

イベント「宮城のほや祭り2020」と連携した販路拡大

- 飲食店での「生ほや」の提供を行った
- まるまるひがしにほんでは、ほやのPRと飲食店の紹介を行い、販路拡大と飲食店への誘客を図った



【お店での紹介】



【生ほやの刺身】

▶協力店舗の表示ステッカー



▶ミニのぼり



さいたま市内で東日本の特産品を取り扱っている飲食店。画像「まるまるひがしにほんの店」でほや料理をお楽しみください。
●弁慶
●大宮区大門町1-14
●048-641-2455

◀飲食店紹介